

患者らと同じ目線で

高齢者ケア
仏考案者講演

講演は岡山大医療人
師、介護士ら約300
0
キヤリアセンタース
CATが主催。医
人が聞いた。
(松島健)

高齢者ケア技術とし ユマニチュードは、
て国際的な注目を集め 患者や要介護者に対し
る「ユマニチュード」 「見つめる」「話す」
の考案者、イブ・ジネ ストさん(62)はフラン
ス在住の講演会が11 日、岡山市であり、患
者らと同じ目線に立つ 00以上の病院や福
医療、介護の重要性な 祉施設が取り入れて
どを訴えた。 いるとされ、日本でも

2014年ごろから関
連書籍の出版が相次
ぐ。

「触れる」といった行
為を重視した約150
のケア技法を体系化。
フランスでは現在、6
挙げ「認知機能が低下
しても、感情に働き掛
ければ人間らしさを取
り戻せる」と紹介。「患
者と絆を育むことが何
より大切。相手に優し
さが伝わるような介助
動作を心掛けてほし
い」と訴えた。



フランスの高齢者ケア技術をテーマにした
講演会

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。